

加賀大日山 山行報告（石川県）

日 時：2022年5月14日（土）～15日（日）

参加者：H、T、M（記）

天 候：曇り

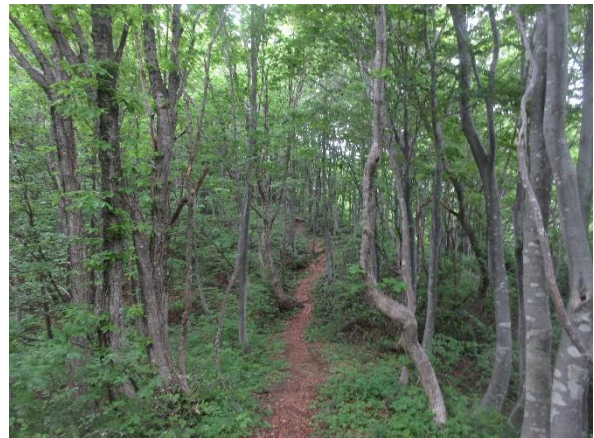
コース：山中温泉真砂町登山口から大日小屋・大日山・小大日山を周回

- 5/14 11:00 JR 郡山駅集合、京奈和から京滋・名神に入る
12:50～13:20 多賀 SA 昼食休憩
15:45～16:20 キャンプ場の丸岡温泉が外来入浴終了のため、山中温泉道の駅のゆ～ゆ～館で入浴
16:35 たけくらべ広場キャンプ場に到着、広い芝生の広場にテント設営
- 5/15 5:30 出発。ほかのテントはキャンパーなので起きている人は少ない
6:20～30 真砂登山口駐車場、5～6 台程度、この先の林道は悪路だが奥の駐車場には2 台入っていた
7:00 登山口、ここからしばらく急登の後、緩やかな歩きやすい道となる。新緑のブナ林の中、緩急勾配のよく踏まれた道が続く。頂上直下では残雪も現れ、エンレイソウ、イワウチワや待望のカタクリの群落に遭遇
9:27～35 登り着いて目の前の笹原のなか、大日小屋着。白山の眺望あり
10:21～11:02 登山道沿いはカタクリが続く。いったん下って登りかえして大日岳着。頂上は高木がなく明るく広い。数人が休憩中で白山の展望が良い
12:02 一旦下り登りかえして小大日山、少ないながらこちらの道沿いにもカタクリやイワウチワが見られる。他にもサンカヨウや白花カタクリも
12:35～40 徳助の頭。このあと急な下りに入り杉の植林の中、眺望もない
13:50 林道に合流
14:00～14 駐車場に到着、車は数台増えている。

北陸の山シリーズとして今回はカタクリとシャクナゲを目標に加賀大日山を計画。当初は金曜日の夜出発し、土曜日に加賀大日山、キャンプ場で1泊し日曜日に水芭蕉の取立山をめぐる計画であったが、水芭蕉に少し早いのと金曜日から土曜日の午前中にかけて雨予報だったため土曜日の



たけくらべキャンプ場、芝生で広い



新緑のブナ林の緩やかな登山道

午前奈良出発、たけくらべキャンプ場で1泊し翌日曜日に加賀大日山に登ることにした。メンバーは4人だったが結局3人で出発、順調に現地入り、丸岡温泉は入館時間を過ぎていたため、山中温泉の道の駅に併設の温泉「ゆ〜ゆ〜館」入浴後、キャンプ場に到着。広々としていて気持ちのよいキャンプ場で1張り700円は安い。多くのキャンパーでにぎわっていた。翌朝早く出発し、登山口手前の駐車場スペース（5〜6台）に到着、さらに奥に林道は続いているが悪路。準備を済ませて林道を進む。今回は反時計回りのルートを選択し登山口に到着。いきなりの急登から始まった登山道は緩急織り交ぜて新緑のブナ林の中、しっかりした歩きやすい道が続く。まだ残雪のある中腹あたりからイワウチワや猩々袴の花が現れ、大日小屋手前でカタクリの群落に遭遇、すぐに大日小屋のある笹原にでると正面に白山から荒島岳などが四周一望できる。



最初のピークの大日小屋、笹原のなかで眺望がよい



大日山からの白山の遠望



左から M、H、T、後方は白山

小屋を後に笹原をいったん下る道沿いにはたくさんのカタクリやミヤマカタバミが咲いている。大日山への登り返しの道沿いもカタクリや猩々袴の群落でどちらも薄紫の花盛りだ。大日山の頂上は広々として白山方向の眺望が良く数人の先客あり。昼食休憩後小大日山経由の下山ルートに入る。こちらもカタクリやイワウチワ、猩々袴の見頃だ。小大日山あたりではタムシバ?やシャクナゲも見頃、白いカタクリも見ることができ目的の花のほとんどは見ることができた。徳助の頭を過ぎてからは眺望のない急な下りが続きようやく朝の林道に飛び出し、無事出発地点に到着、この後、山中温泉道の駅のゆ〜ゆ〜館に入浴、さっぱりして高速に入りSAで夕食を済ませて奈良に帰り着いた。



登山道沿いのカタクリ



サンカヨウ



イワナン



マンサク



ユキザサ



カタクリの白花



シャクナゲ